

7月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1
T e l 0 5 2 (6 7 1) 4 1 5 3 F a x 0 5 2 (6 8 1) 0 5 3 8

公式HP



高座さんの井戸のぞき

高座御井社祭

7月19日(土)

午前11:00

高座結御子神社

祭典・神事

熱田区高蔵町に鎮座する高座結御子神社の境内末社御井社(みいしゃ)のお祭りで、夏の土用入りの日に執り行われます。

このお社の井戸には、古くから幼児にのぞかせると虫の気が封じられ、夏病みをしないという信仰があり、当日は井戸をのぞいてご神恩を戴こうと、遠近を問わず多くの親子連れで賑わいます。



鈴之御前社例祭

7月31日(木)

午後6:00

鈴之御前社

祭典・神事

熱田区伝馬二丁目に鎮座する末社鈴之御前社(れいのみまえしゃ)の例祭で、夏病みを防ぎ疫病や災厄からも護られ健やかな日々を送れるよう祈願する祭典です。

このまつりは夏越(なごし)の祓とも云われ、境内に設けられた高さ2m余りの茅の輪を、祓芦を持って左・右・左と8の字にくぐってお参りをし、邪気を祓い去ります。



御神前で刀剣鍛錬技術を奉納

刀剣鍛錬技術奉納

7月5日(土)~7月7日(月)

本宮拝殿前

行事

毎年恒例となりました、御神前での刀剣鍛錬の技術奉納を行います。本年の奉納刀匠は群馬県の石田智久氏です。境内には鎚が鋼を叩く「カーン・カーン」という甲高い音が響き渡ります。

日程 7/5: 玉つぶし~折り返し鍛錬~火造り
7/6: 素延べ~土置き~焼き入れ(日没後)
7/7: 茎仕立て~銘切り~献納奉告祭



〇お問い合わせは熱田神宮文化殿までTEL 052-671-0852



名古屋場所の無事を祈って

手数入(はずいり)奉納

7月5日(土)

午後1:00

本宮拝殿前

行事

名古屋場所の盛況や力士の健康等を祈って、露払い・太刀持ちを従えた横綱が、大勢の参拝者の見守る中、厳かな手数入が奉納されます。



○手数入に先立ち、相撲協会理事長以下協会役員・横綱・大関・行司の御垣内参拝が執り行われます。

熱田神宮宝物展

コーナー展示「武将と熱田」

6月27日(金)~7月29日(火)

午前9:00~午後4:30

宝物館

宝物展示

当神宮は濃尾平野にある熱田台地の先端に鎮座し、千九百余年の歴史を有しています。爾来、当神宮は多くの武将の信仰を集めたことは、当神宮が所蔵する宝物からも窺い知ることができます。今月のコーナー展では、武将と当神宮との繋がりを紹介いたします。(展示品数 約70点)

主な展示品【重文】日本書紀、【重文】古神宝類 朱漆弓、【県文】三位法印常閑(三好吉房)書状、織田信長朱印状、豊臣秀吉朱印状、徳川家康判物写 他

○入館料 ・大人500円、小中学生200円
[両館共通券 大人800円、小中学生300円]
・入館は午後4時00分まで
・団体割引あり。詳しくは文化課(052-671-0852)まで



剣の宝庫 草薙館 刀剣展

「武士とゆかりの刀剣」

6月25日(水)~7月28日(月)

午前9:00~午後4:30

剣の宝庫 草薙館

刀剣展示

当館は真柄大太刀含め、名刀10数口の他、関連史料の展示、また実際に真剣や真柄大太刀の重さを知ることのできる体験コーナー、映像ブースも兼ね備えております。

主な展示品 【重文】太刀 銘 備州長船兼光
【重文】太刀 銘 元弘三年六月一日実阿作
【県文】脇指 銘 吉光/亀王丸(号蜘蛛切丸)
【県文】脇指 無銘(号 あざ丸) 他

○入館料 ・大人500円、小中学生200円
[両館共通券 大人800円、小中学生300円]
・入館は午後4時00分まで
・団体割引あり。詳しくは文化課(052-671-0852)まで





文化講座

『明日へのあゆみーくらしとしくみー』

7月12日(土)
午後2:00～午後4:00
文化殿講堂

教養

【演題】

「神道の昭和史」

【講師】

皇學館大学 准教授 高野 裕基 氏



○聴講無料

献詠祭 献詠歌募集

予選歌は神前で披講されます

公募

兼 題 「宮」

応募方法 一人1首とする(但し、神前披講にふさわしい歌で未発表のもの)

葉書に楷書で明記。住所・氏名にはふりがなをつける。※小中学校生は学校名・学年も記入。

〆 切 日 7月31日(木)

*本年の献詠祭は9月28日(日)神楽殿で執り行います。



○ [出品取扱所] 熱田神宮宮庁総務課 Tel.052-671-4153
[作品送付先] 〒456-8585 名古屋市熱田区神宮1-1-1
熱田神宮宮庁 総務課 献詠係行